

京都府農林水産業人材確保・育成戦略（中間案）の概要

第 1 戦略策定の趣旨

- ・ 農林漁業・農山漁村の果たす役割と重要性
- ・ 農林漁業・農山漁村の担い手の減少・高齢化の現状と問題点
- ・ 農林漁業の環境変化に対応した産学公民連携による効果的な人材育成施策の構築

第 2 担い手の構造変化と現状

1 農林漁業の担い手の状況

- (1) 農業（茶業、畜産業）
- (2) 林業
- (3) 漁業

2 農山漁村を支える人材の状況

第 3 人材確保・育成施策の取組状況と課題

1 農林漁業の取組状況と課題

- ・ 農林水産ジョブカフェにおける就農・就業相談状況

(1) 農業（茶業、畜産業）

ア 誘導段階

イ 相談・体験段階

ウ 実践研修段階

○農業大学校

○宇治茶実践型学舎

○畜産人材育成研修制度

○担い手養成実践農場（農業経営チャレンジ支援事業）

エ 就農・就業支援段階

オ 経営発展段階

(2) 林業

ア 誘導段階

イ 相談・体験段階

ウ 実践研修段階

○林業大学校

エ 就農・就業支援段階

オ 経営発展段階

(3) 漁業

- ア 誘導段階
- イ 相談・体験段階
- ウ 実践研修段階
 - 海の民学舎
- エ 就農・就業支援段階
- オ 経営発展段階

2 農山漁村の取組状況と課題

- ・ 京都府への移住者数の状況

第4 今後育成すべき担い手像

- ・ 農林漁業の成長産業化、農山漁村の維持・活性化を支える人材の確保・育成が必要
 - ・ 社会経済情勢の変化を踏まえて求められる農林漁業・農山漁村の担い手の多様化
- 1 農林漁業の成長産業化を牽引する専門人材
 - (1) 生産から消費までを見据え、様々な経営リスクに柔軟・的確に対応できる経営人材
 - (2) 最先端技術を積極的に取り入れ、生産性向上と高付加価値化を実現する技術人材
 - 2 様々な形で農林漁業に関わり、農山漁村を支える多様な人材
 - 3 自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を形成する人材

第5 施策の基本的な方向性

- ・ 産学公民の連携による定着・定住までの一貫サポート体制の整備により、他府県にない魅力ある研修体系を構築し、農林漁業の成長産業化と農山漁村の活性化に資する人材を育成
- 1 推進体制の整備
 - (1) 農林漁業人材育成センター（仮称）の創設
 - ・ 農・林・漁業の分野横断で誘導・相談から研修、就業、定着までを一貫サポートする人材育成施策の司令塔を創設する。
 - (2) 農林漁業人材育成ネットワークの構築
 - ・ 府労働部門の人材育成施策に加え、関係団体や大学、民間の研究機関や事業体、市町村など、産学公民の多様な主体の連携による人材育成ネットワークを構築する
 - ・ 育成すべき担い手像に求められる多様な研修ニーズに対応し、幅広く専門的な教育メニューを提供する
 - 2 主な施策体系
 - (1) 農林漁業人材育成センター（仮称）による誘導、相談・体験から実践研修、就農・就業支援及び経営発展に至る一貫したサポート

- ア 誘導段階
- イ 就業・相談段階
- ウ 実践研修段階
- エ 就農・就業段階
- オ 経営発展段階

(2) 産学公民による育成すべき担い手像に応じた多様で専門的な教育の実施

- ア 農林漁業の成長産業化を牽引する専門人材
 - (ア) 高度経営人材
 - (イ) 高度技術人材
 - イ 様々な形で農林漁業に関わり、農山漁村を支える多様な人材
 - ウ 自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を形成する人材
- (3) 魅力ある教育環境の整備
- ア 教育施設
 - イ 生活環境

3 他の計画・施策などとの連携

(1) 京都フードテック基本構想

- ・ 「京都フードテック基本構想」の推進により、農林水産業の生産性向上と高付加価値化を図り、他産業並みの労働条件を確立する

(2) 移住施策

- ・ 移住コンシェルジュや田舎暮らしナビゲーターなどと連携し、移住希望者に向けた京都府の人材確保・育成施策の情報提供を行う。

第6 分野ごとの具体的な施策

1 農業

(1) 農業大学校

- ア 農学科の教育内容の充実
- イ 研修科の教育内容の充実
- ウ スペシャリストコース（仮称）の設置

(2) 宇治茶実践型学舎

- ア 関係機関と連携した効率的な担い手の育成

(3) 畜産人材育成研修制度

- ア 関係機関と連携した効率的な担い手の育成
- イ 高度技術習得の場の設置

(4) 担い手養成実践農場（農業経営チャレンジ支援事業）

- ア 法人雇用の推進
- イ 受入体制の整備

2 林業

(1) 林業大学校

- ア 森林・林業科の教育内容の充実
- イ 研修科の教育内容の充実
- ウ エキスパートコース（仮称）の設置
- エ 農林水産技術センター（森林技術センター）との一体的運営
- オ 地域との交流活動の拡大等

3 漁業

(1) 海の民学舎

- ア 座学研修の教育内容の充実
- イ 実地研修の教育内容の充実
- ウ 特別講座の設置

第7 計画期間及び目標数値

1 計画期間

2 目標数値

(1) 新規就業者数

- ア 農業（茶業、畜産業）
- イ 林業
- ウ 漁業

(2) 事業体の経営力強化

- ア 販売額〔2,000万円／年以上〕の農業経営体数
- イ 素材生産量〔1万m³／年以上〕の林業事業体数
- ウ 販売額〔400万円／年以上〕の個人漁業者数

3 取組状況の評価・検証

- ・ P D C Aサイクルによる施策体系、目標値の検証、見直し

第8 農林水産業人材確保・育成戦略検討委員会の開催

1 開催状況

(1) 分野横断会議

(2) 分野別会議

- ア 農業
- イ 林業
- ウ 水産業

2 委員構成

(1) 分野横断会議

(2) 分野別会議

ア 農業

イ 林業

ウ 水産業